

# しまちゃん通信

角ともこ県議会レポート 2013.11 November vol.27

九月定例議会報告

## 子どもたちの健やかな成長を願って

### インターネット依存対策等について聞く

9月12日から開かれた定例議会では一般質問を行いました。

今回は、〇海岸漂着ごみ処理について〇木質バイオマス発電事業支援について〇ネット依存について〇高校書道教諭の採用について〇障がい者雇用について〇公共工事設計労務単価の改定についての6項目について質問しました。その一部を報告します。

**木質バイオマス発電事業支援**  
県内では、再生エネルギーの活用として、木質バイオマス発電が県も支援して進められています。既に県内2カ所で木質バイオマス発電の準備が進められています。その成功の鍵は、いかに安定的に木質チップを供給するかにあります。チップの原料となる原木の加工の際に出る端材や間伐材、林地残材が安定的に供給されるには、一方で原木の活用を促進していくことが必要です。

#### 木質バイオマス発電事業支援

農林水産部長 林地残材をいかに低コストで効率よく集め、そして燃料チップに加工、供給するまでであり、県では、林地残材を収集するための作業道の整備に対して支援している。また、燃料チップの増産に向け、林地残材の収集搬出用の機械や集荷場の整備、チップ工場の新設などの支援も行っている。

#### 障がい者への就労支援

障がい者の就労支援が進み、雇用率が今年4月から1.8%から2.0%に引き上げられました。障がい者の皆さんの自立に向けた環境整備がさらに進むことを願い、一般就労に向けた支援について質問しました。

**木質バイオマス発電を成功させるために、県としてチップの安定供給に向けた支援をどのようにされるのか。**

農林水産部長 林地残材をいかに低コストで効率よく集め、そして燃料チップに加工、供給するまでであり、県では、林地残材を収集するための作業道の整備に対して支援している。また、燃料チップの増産に向け、林地残材の収集搬出用の機械や集荷場の整備、チップ工場の新設などの支援も行っている。

**就労支援事業所から一般事業所へと移行したときの障がい者への支援、また障がい者を受け入れる事業所の職場環境、従業員の理解などの取り組みは。**

健康福祉部長 障がい者を雇用する予定の一般企業では、その企業がある圏域の障害者就業生活支援センター等と連携して、受け入れる障がい者に対して仕事への習熟と職場での人間関係づくりのための就職前実習、当該企業の従業員に対して受け入れる障がい者の障がい特性や必要な配慮に関する事前の職場研修が実施されている。

**インターネット依存について**  
携帯電話やスマートフォンが普及し、インターネット接続が容易になり、ネットを使って情報のやり取りを行うSNSやソーシャルネットワークやゲームに夢中になる人が増えてきました。インターネットにはまり、使用をやめられない心の病、それがネット依存症です。

最近の報道では、厚生労働省が全国10万人に近い中高生を対象にしたインターネット使用実態調査が行われ、ネット依存が疑われる生徒が8.1%、この結果からネット依存の生徒が全国で51万8千人と推計されています。

**県内の児童生徒のインターネットの使用時間など県内状況は。**

教育長 1日当たりのインターネットの使用時間は、平成25年度分で1日1時間以上使用している県内の小学校6年は18%、中学3年生が45%。全国と比較すると4〜5ポイント低い。平成20年度と比較すると増加傾向にあり、特に中3では16ポイント上昇している。

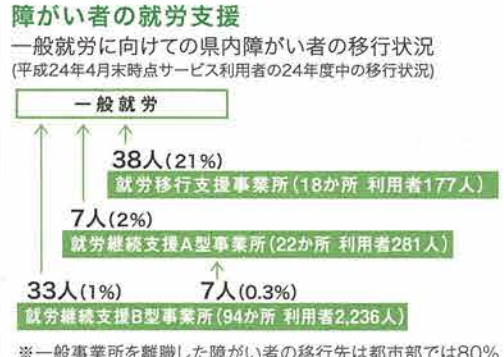
**児童生徒のインターネット利用に係わるマナーなどの教育が早急になされなければならないが、どのようにされるか。**

健康福祉部長 事業者の協力を得て、青少年に携帯電話等を販売する際にその適切な利用の呼びかけを行うなどの具体的な取り組みを検討していきたい。条例化は、国や他県の動向なども参考にしながら、幅広い検討、研究を行っていく。

**社会全体で、それぞれの立場の責務を明らかにして取り組む内容を盛り込んだ条例の制定についていかに考えか。**

健康福祉部長 事業者の協力を得て、青少年に携帯電話等を販売する際にその適切な利用の呼びかけを行うなどの具体的な取り組みを検討していきたい。条例化は、国や他県の動向なども参考にしながら、幅広い検討、研究を行っていく。

**今後、需要が見込まれる木質チップの安定的な供給のためには、原木生産をどの程度ふやしていくことが必要なのか。また、その実現の見通しは。**



障がい者の就労支援が進み、雇用率が今年4月から1.8%から2.0%に引き上げられました。障がい者の皆さんの自立に向けた環境整備がさらに進むことを願い、一般就労に向けた支援について質問しました。

**インターネット依存について**  
携帯電話やスマートフォンが普及し、インターネット接続が容易になり、ネットを使って情報のやり取りを行うSNSやソーシャルネットワークやゲームに夢中になる人が増えてきました。インターネットにはまり、使用をやめられない心の病、それがネット依存症です。

**県内の児童生徒のインターネットの使用時間など県内状況は。**

**児童生徒のインターネット利用に係わるマナーなどの教育が早急になされなければならないが、どのようにされるか。**

**社会全体で、それぞれの立場の責務を明らかにして取り組む内容を盛り込んだ条例の制定についていかに考えか。**



議場で一般質問



発行者 角 智子 〒690-0063 島根県松江市寺町67-23  
TEL.(0852) 28-8880 FAX.(0852) 28-8881  
E-mail sumi@tomachan.net  
U R L http://www.tomachan.net/

# とまちゃん通信

## 寧夏と友好交流20年

### 友好交流派遣団として中国訪問

#### 寧夏訪問

10月19日から23日かけて中国を訪問しました。これは、島根県と中国寧夏回族自治区との友好交流20周年の記念事業が寧夏で行われるのに合わせて、島根県から訪問団が派遣されたもので私も議会代表で加わりました。この事業には島根大学、NPO日本寧夏友好交流協会も訪問団を派遣されました。その中国訪問の様子について報告します。



日本大使館訪問(中央が木寺大使)

#### 日本大使館を訪問

中国訪問初日、北京に夕方到着後、公式訪問団を代表して小林副知事をはじめ6名が、日本大使館を訪問し木寺昌人大使に表敬しました。島根県の中国訪問について報告し、合わせて今回の訪問に尽力いただいたことへのお礼を申し上げます。今回の寧夏回族自治区訪問等には大使館の青戸直哉参事官が同行されました。青戸参事官は松江市の出身です。

翌日、寧夏回族自治区に向けて北京を出発し、すっきりとした青空に飛び立ち、寧夏を目指しました。ところが寧夏に近づくと雲が多くなり、到着したころには雨が降り気温もかなり低く、コートがいるような状況です。寧夏は島根よりも寒いということは聞いていましたが、外気温は10度を切っていました。空港では寧夏政府の国際交流担当の外事弁公室の皆さんに迎えられる歓迎を受けました。午後には雨もあがり、道も乾くほどで、乾燥していることがよくわかります。寧夏博物館に案内され、学芸員の方から説明を受けて館内を1時間余り駆け足でまわりました。2008年にできたという博物館は今回初めて行きましたが、寧夏の古代から現代にかけての歴史や文化を学ぶいい機会となりました。時間があつたらしくりと観たいと思う展示ばかりでした。館長からは、島根の展示も歓迎するとのことのお話がありました。

#### 砂漠地帯で記念植樹

寧夏2日目は、友好交流20周年記念植樹のため、銀川市から2時間余りかけて会場である靈武市の砂漠地帯に、島根県訪問団と島根大学訪問団、NPO



緑化が進む砂漠



記念植樹式で議長代理としてあいさつ

では世界からも注目されるほどの緑化事業が進んでいます。訪問団、地元それぞれの代表の挨拶で始まった記念式の後、訪問団と地元関係者の皆さんと記念植樹を行いました。植樹の後、地元で取れたぶどうやナツメヤシ、地元の人たちが作った揚げパンを馳走になりました。銀川市に引き返しました。午後、寧夏大学・島根大学共同セミナーの開幕式、両大学共同研究所図書室の開設式に出席しました。式の前に寧夏大学学長に表敬し、セミナー開幕式、記念撮影、そして開設式と寧夏大学での友好交流記念の一連の式典が行われました。共同研究所図書室には、寧夏大学で日本語を学ぶ学生のために島根県民から集められた図書が寄贈されています。



シンポジウムで島根と寧夏の交流を報告

その後、西夏王陵の見学に行きました。ここにある博物館も学芸員の方に解説していただきながら見学した後、王陵まで歩いていきましたが、以前にきた時よりもさらに周辺の緑化が進んでいるように感じました。もともと砂漠の中に転々と西夏の王の墓が点在していたのですが、今は木々で遠くまで見渡せないようになっていきました。その光景が変わっていくことに、現地では賛否両論あり、元のままの姿にあるべきという意見と、ここも他の砂漠と同じように緑化すべきという意見があるようです。

**中日友好協会設立50周年**  
中国滞在4日目は、北京に戻り、午後から行われる中日友好協会設立50周年記念シンポジウムに参加しました。このシンポジウムは中国の迎賓館がある釣魚台で行われ、シンポジウムが始まる前に、島根県訪問団は国際交流員として中日友好協会から島根県に派遣されている李さんの案内で散策し、六か国協議が行われる八芳苑などを見て回りました。

釣魚台迎賓館六号館で行われたシンポジウムには、小林淳一副知事、難波明日本寧夏友好交流協会会長、佐藤孝男島根県緑化推進委員会副会長とともに私も出席しました。

開会式、基調講演の後、意見交換があり、私も指名いただき、日本寧夏友好交流協会の紹介や交流事業の紹介をさせていただきました。今回も寧夏で友好交流20周年の記念事業を行ってきたことなどを報告しました。また、小林副知事からも島根県の寧夏及び吉林省との友好交流や中日友好協会から職員派遣を受けていることなどが報告されました。



中日友好協会唐会長と懇談

告されました。シンポジウムの後、釣魚台迎賓館五号館で中日友好協会設立50周年記念祝賀会があり、唐家璇会長と日中友好協会の加藤紘一会長の挨拶で始まりました。協会の皆さんは日本語が堪能で会話に困ることもなく、交流のひとときを過ごさせていただきました。